

各位

ごあんない

尚綱子育て研究センター 第22回公開シンポジウム

主催：尚綱子育て研究センター

尚綱大学短期大学部公開講座 第36回サマーセミナー

主催：尚綱大学短期大学部幼児教育学科

初夏の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

尚綱子育て研究センター公開シンポジウム、幼児教育学科公開講座サマーセミナーは、長年、保育関係者や子育てに関心のある市民の皆様に向けて、熊本の保育や子育ての質の向上をめざした学びの場を提供してきました。

今年度も、午前の部、午後の部ともに明日からの保育が楽しくなるような講演、講座内容を準備しております。

夏の研修の一つと考えていただき、多くの皆様にご参加いただけますよう心よりお待ちしております。

1. 期日：令和5年8月5日(土)

2. 会場：尚綱大学短期大学部 武蔵ヶ丘キャンパス

3. 対象者：公開シンポジウム…保育や子育てに関心のある方はどなたでもご参加ください

サマーセミナー…幼稚園、保育所、認定こども園、地域型保育事業、施設などの職員

4. 募集定員：シンポジウムは100名程度。サマーセミナーについては50名に人数制限をします

5. 参加費：サマーセミナーのみ1,000円(傷害保険費を含む) 当日受け付けます

6. 申込方法・申込先

E-mailでの申込にいたしますが、E-mailでの申込が難しい場合は、ハガキにてお申込みいただけます

申し込みいただく項目は、①氏名、②勤務先、③勤務年数(尚綱卒の方のみ何年度卒かご記入ください)、④サマーセミナーに

参加の場合は、第一希望、第二希望まで講座をお知らせください

(1)E-mailでの申込

kakihara@shokei-gakuen.ac.jpに、上記の項目をご記入の上、送ってください。

(下のQRコードからもアドレスや記入事項を読み取れます。QRコード読み取りのアプリをご活用ください)

なお、メール受信後、申し込み受付確認及びサマーセミナーの参加講座をお知らせするメールを返信いたします。

メール返信が1週間以内に届かない場合は、ご連絡ください。



←QRコードを読み取ってください。

〈テキストを表示する〉をクリックすると下の項目が表示されます。

〈送信手順〉

・まず1から8までをコピー。

・次に、kakihara@shokei-gakuen.ac.jpをクリック。

メール入力画面になります。

・先ほどコピーした内容を送信欄にペースト。

必要事項を入力し、送信。

※5.～7.は希望箇所に(○)を記入願います。

※8.はサマーセミナーの希望講座番号を記入願います。

kakihara@shokei-gakuen.ac.jp

1.氏名()2.勤務先()3.勤務年数()

4.卒業年度(本学卒業生の方のみ)5.シンポジウムのみ参加()

6.シンポジウムとサマーセミナーに参加()7.サマーセミナーのみ参加()

8. 第一希望()、第二希望()

(2)ハガキでの申込

〒861-8538 熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1

尚綱大学短期大学部 幼児教育学科

サマーセミナー担当：柿原まで

当日体調の悪い方は参加をお控え下さい。

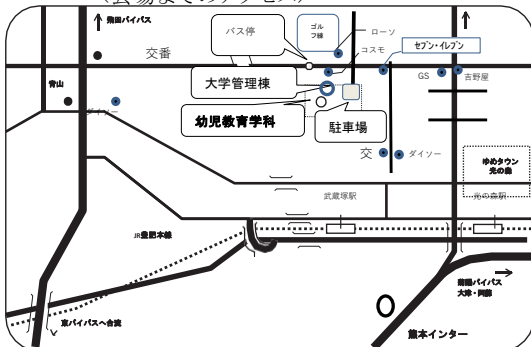
7. 申込期限：令和5年7月31日(月)

8. 昼食：各自ご用意ください

〈当日のプログラム〉

8:50	受付															
9:20	開会式:2201号室(旧第5講義室)															
9:30 (90分)	尚綱子育て研究センター 講演:「ひとり一人の発達に寄り添った支援ー発達の連続性を踏まえた保育・幼児教育のあり方とはー」 講師:鎌塚優子氏(国立大学法人静岡大学 副学長、静岡大学教育学部 教授) 司会:増田吹子(尚綱大学こども教育学部)															
11:00	休憩															
11:15 (45分)	尚綱子育て研究センター 公開シンポジウム 座談会 「インクルーシブ保育について」 話題提供 インクルーシブ教育・保育の考え方(尚綱大学こども教育学部 矢野潔子) 附属こども園における子どもたちの様子(尚綱大学附属こども園 村上里奈・千代延久美子) 出席者 ・鎌塚優子氏 ・吉田道広(尚綱大学こども教育学部) ・村上里菜・千代延久美子(尚綱大学 附属こども園) 進行 矢野潔子(尚綱大学こども教育学部)															
12:00	閉会式															
昼食																
13:30 (120分)	尚綱大学短期大学部公開講座 サマーセミナー 講座 <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>講師</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 子どもと楽しむ音楽</td> <td>中山 健 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科)</td> <td>1号館 2階 第一音楽室</td> </tr> <tr> <td>2 「育ちあい」をデザインしようー共生の時代の園・家庭・児童発達支援事業所等との連携ー</td> <td>佐澤智恵子(療育スーパーバイザー・臨床発達心理士) 矢野 孝(児童発達支援事業所アロト)</td> <td>2号館 2階 2202号室 (旧視聴覚室)</td> </tr> <tr> <td>3 保育実践を持ち寄って話し合おう!</td> <td>増淵千保美 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 片桐真弓 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 田端桃佳(はけみや保育園) 姫野萌音(はけみや保育園)</td> <td>管理棟 2階 子育て研究センター</td> </tr> <tr> <td>4 ホームカミングーコロナ禍を過ごした学生時代と今ー</td> <td>柿原一貴 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 栗川直子 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 高野鈴香(人吉ひまわり保育園)</td> <td>2号館 1階 2101号室 (旧第1講義室)</td> </tr> </tbody> </table>	講座名	講師	会場	1 子どもと楽しむ音楽	中山 健 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科)	1号館 2階 第一音楽室	2 「育ちあい」をデザインしようー共生の時代の園・家庭・児童発達支援事業所等との連携ー	佐澤智恵子(療育スーパーバイザー・臨床発達心理士) 矢野 孝(児童発達支援事業所アロト)	2号館 2階 2202号室 (旧視聴覚室)	3 保育実践を持ち寄って話し合おう!	増淵千保美 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 片桐真弓 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 田端桃佳(はけみや保育園) 姫野萌音(はけみや保育園)	管理棟 2階 子育て研究センター	4 ホームカミングーコロナ禍を過ごした学生時代と今ー	柿原一貴 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 栗川直子 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 高野鈴香(人吉ひまわり保育園)	2号館 1階 2101号室 (旧第1講義室)
講座名	講師	会場														
1 子どもと楽しむ音楽	中山 健 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科)	1号館 2階 第一音楽室														
2 「育ちあい」をデザインしようー共生の時代の園・家庭・児童発達支援事業所等との連携ー	佐澤智恵子(療育スーパーバイザー・臨床発達心理士) 矢野 孝(児童発達支援事業所アロト)	2号館 2階 2202号室 (旧視聴覚室)														
3 保育実践を持ち寄って話し合おう!	増淵千保美 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 片桐真弓 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 田端桃佳(はけみや保育園) 姫野萌音(はけみや保育園)	管理棟 2階 子育て研究センター														
4 ホームカミングーコロナ禍を過ごした学生時代と今ー	柿原一貴 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 栗川直子 (尚綱大学短期大学部幼児教育学科) 高野鈴香(人吉ひまわり保育園)	2号館 1階 2101号室 (旧第1講義室)														
15:30																
16:00~16:30	オフィスアワー (幼児教育学科各教員研究室)															

〈会場までのアクセス〉



- 駐車場:学内に多数あります。
※近隣の民間の駐車場には駐車されないのでください。
- 交通機関:
バス 熊本桜町バスターミナル17番のりば
熊本電鉄バス「C5」系統
北熊本、菊池、武蔵ヶ丘、光の森方面行き
「尚綱大学前」下車 徒歩1分
JR 豊肥本線
「武蔵塚駅」下車 徒歩20分

◎講演〈9:30～11:00〉 2号館2階 2201号室

『ひとり一人の発達に寄り添った支援—発達の連続性を踏まえた保育・幼児教育のあり方とは—』

講師： 鎌塚優子氏

(国立大学法人静岡大学副学長・静岡大学教育学部教授)



鎌塚優子氏(かまづか ゆうこ)

【講師のご紹介】

公立小中学校の養護教諭とし23年間勤務。特別支援教育が開始される前から、学校に上手く適応できない子供たちやその子供たちを取り巻く家族の自助グループをつくるなどの活動に取り組みられてきました。また、地域に教育、福祉、医療等の専門職のための勉強会を発足し、多職種専門職連携にも尽力されてきました。平成15・16年度には、当時、勤務されていた中学校が、文部科学省特別支援教育推進体制モデル事業の研究校に指定されたことによって、その推進の中心となり支援体制の構築に尽力されました。

退職後、2011年岐阜聖徳学園大学短期大学部を経て2013年より現職。現在は養護教諭養成教育、現職研修に携わるとともに学生支援担当の副学長として、学生生活全般の支援や障害学生の修学サポート体制支援に携わられています。

シンポジウムでは、小学校から大学まで、集団生活の中でさまざまな困難さを抱えた子供の支援を行ってきたご経験から、幼児期の子供たちに必要な支援についてのアイデアやヒントをもらい、保育者がひとり一人の発達に寄り添った支援のための質を高めていく機会になればと思います。

◎座談会〈11:15～12:00〉 2号館2階 2201号室(旧第5講義室)

『インクルーシブ保育について』

話題提供

「インクルーシブ教育・保育の考え方」 矢野潔子(こども教育学部教授)

「附属こども園における子どもたちの様子」 千代延久美子氏(尚綱こども園主幹教諭)

村上里菜氏(尚綱こども園保育教諭)

座談会メンバー

千代延久美子氏

村上里菜氏

吉田道広(こども教育学部教授)

鎌塚優子氏

座談会進行 矢野潔子

第36回サマーセミナー 各講座内容ごあんない

◎講座 〈13:30～15:30〉

1 子どもと楽しむ音楽（1号館2階 第一音楽室）

講師 中山健（幼児教育学科）

幼稚園や保育園を卒園して小学校に入学した子ども達は、どのように成長していくのでしょうか。40年以上小学校で子どもたちを教えてきた本日の講師の中山の実践を見ながら、「音楽」では、どう子どもを育てていったらいいのか、一緒に考えていきましょう。また、参加者の先生方の日頃の疑問や悩みなどをお互いに出し合いながら有意義な時間が過ごせたらと思います

2（「育ちあい」をデザインしよう—共生の時代の園・家庭・児童発達支援事業所等と （2号館 2階 2202号室 旧視聴覚室）

講師 佐澤智恵子（療育スーパーバイザー・臨床発達心理士）

講師 矢野 孝（児童発達支援事業所アロッド）

共生の時代の園には、様々な「生きにくさ」を抱えた子どもたちもやってきます。そして各園の身近には、その生きにくさの特性や発達過程を踏まえて子どもの成長を支援する「児童発達支援事業所等」が設けられています。児童福祉法にのっとり、子ども自身の最善の利益を目指した支援を行うと共に、家族支援や移行支援（園における集団参加への支援等、地域社会への参加・インクルージョンの推進と合理的配慮の共有）、その後方支援がこれら事業所等の役割です。本日はその事業の概要をご紹介しますと共に、園・家庭・事業所、それぞれの得意を生かした連携について考えたいと思います。

3 保育実践を持ち寄って話し合おう！（管理棟2階 子育て研究センター）

講師 田端桃佳・姫野萌音（はけみや保育園）

増淵千保美（幼児教育学科）

片桐真弓（幼児教育学科）

子どもが自己充実するような保育がしたい、子ども主体の保育がいいと思いつつながら、思ったような保育が出来ていないのではと悩んだり、子どもの心が見えていないのではと不安になることもあるかと思います。誰もが悩みもがきながら実践を積み重ねているのではないのでしょうか。そんな保育者の支えになりたいと、尚綱子育て研究センターでは、平成27（2015）年から乳児保育研究会（現在は乳幼児保育研究会）を開催しています。本日は、乳幼児保育研究会に参加の先生に実践報告をしていただき、参加者の皆様と共に、保育実践の検討を行い、明日への保育の手がかりを得る機会にしたいと思います。自分らしい保育が見えて来るかもしれません。

4 ホームカミングーコロナ禍を過ごした学生時代と今ー

（1号館1階 2101号室 旧第1講義室）

講師 高野鈴香（人吉ひまわり保育園）

柿原一貴（幼児教育学科）

栗川直子（幼児教育学科）

学生時代にコロナ禍だった卒業生の皆さん、学生時代は講義・実技・実習等が遠隔授業になったり学外実習の一部も学内演習だったり通常の学生生活を過ごせなかったですね。現在、現場で働いている中で苦労していませんか。色々な悩みをコロナ禍になる以前の先輩に遠慮せず相談してみましょ。今後の糧となるアドバイスを貰えると思いますよ。この講座は、経験年数3年以内の保育者を対象とさせていただきます。

◎オフィスアワー 〈16:00～16:30〉 幼児教育学科教員各研究室

卒業生の方は久しぶりの母校で懐かしく思われたことでしょうか。教員は研究室であなたを待っています。遠慮せず尋ねてください。また、本学の卒業生以外の方も大歓迎です。日頃から課題に思っている事や保育に関する悩みなどありましたら、我々と語り合しましょう。

各教員の研究室

管理棟：村上、栗川、岩永

1号館：中山、森

2号館：増淵、坂本、市川、片桐、草野、佐竹、中ノ子

体育館：柿原